

韓統連大阪通信紙

自主

チンジュ

323号

2018年新年号

자주

発行 在日韓国民主統一連合  
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

## 新年辞

## 積弊清算から平和・統一の年へ

韓統連大阪本部代表委員 金隆司(キム・ユンサ)



在日同胞の皆さん、日本の友人の皆さん、新年明けましておめでとうございます。

旧年中、韓統連大阪本部の運動に参加、連帯、支援して下さったすべての皆さんに深く感謝します。

## ●キャンドル革命1周年

昨年は、100万を超える市民の平和的なキャンドルによって大統領が退陣に追い込まれ、キャンドル精神を継承する新しい大統領が誕生した年でした。

1960年の4月革命は、李承晩(イ・スンマン)政権を打倒したものの軍事クーデターで未完に終わり、1979年の釜山・馬山の大規模な民衆デモは大統領が側近に暗殺されましたが、全斗煥(チョン・ドゥファン)が登場し、抗議した光州市民は虐殺されました。1987年の6月民主抗争は、大統領直接選挙制を勝ち取りましたが、野党が分裂し、盧泰愚(ノ・テウ)政権の誕生を許してしまいました。

韓国の現代史で、民衆の闘いによって勝ち取った成果を継承する政権が樹立されたことはありませんでした。しかし、今年のキャンドル革命は文在寅(ムン・ジェイン)政権を誕生させ、韓国の民主主義は急速に前進し始めました。過去の政権の不正腐敗を清算する積弊清算は着々と進み、朴槿恵(パク・クネ)政権の生みの親である李明博(イ・ミョンバク)元大統領も逮捕される可能性が高まっています。

私たちの民族にとって最大の積弊は分断です。キャンドル革命1周年の2018年は、積弊清算から平和・統一への飛躍の年になるでしょう。

## ●鯨の喧嘩で

## エビの背が裂ける

去年の11月、国連で「平昌オリンピック休戦決議案」が決議されました。平昌オリンピック

(2月9日～25日)パラリンピック(3月9日～18日)の期間、開幕7日前から閉幕7日後まで全ての国連加盟国が敵対行為を中断するように勧告しています。この決議を遵守するならば、毎年実施されている韓米合同軍事演習は、当然中止されなければなりません。

「鯨の喧嘩でエビの背が裂ける」という韓国の諺があります。強い者同士が喧嘩をすれば、弱者が巻き込まれて被害にあうという例えです。

400年前の壬辰倭乱(豊臣秀吉による朝鮮侵略)は、日本が明国を征服しようとして起こした戦争であり、百年前の日本は清国だけでなく、ロシアとも戦争をしました。第二次大戦後はアメリカとソ連の対立(冷戦)で分断されました。16世紀以来、わが民族は「鯨の喧嘩でエビの背が裂ける」状況から脱出できませんでした。

しかし、キャンドル革命によって大きく成長した韓国は、今や「エビ」ではありません。例えるならイルカがふさわしいでしょう。イルカは鯨とは比較にならないほど小さいけれど、ずば抜けた知能と活動力で非常に強い生命力をもっています。イルカは巨大な鯨と肩を並べて大海を舞台に活動しています。2018年、朝鮮半島の戦争の危機は、賢明なイルカによって解決されるでしょう。

韓統連大阪本部は、今年も自主・民主・統一の実現のために全力で闘っていきます。

新年が皆さんにとって幸多い年になることを祈願し、新年のあいさつとします。



新年明けましておめでとうございます。

「チャジュ(自主)」2018年新年号では、日頃から韓統連大阪本部と連帯関係にある各界の方々から、新年辞を送って頂きましたので、紹介させていただきます。

## 2018年新年辞

### 在日韓国良心囚同友会代表 李哲(イ・ Chol)

韓統連大阪本部と「自主」読者の皆様、心より明けましておめでとうございます！

私たちは今年、歴史的な本当に素晴らしい新年を迎えることができました。韓国の民衆は一昨年10月から続けられたキャンドル集会をもって「大韓民国の主権は国民にあり、すべての権力は国民から出る」という憲法第1条を自ら実践して、崔順実と朴槿恵一派の国政壟断を糾弾し、民衆の力で文在寅民主政府を樹立しました。

これにより4・19学生革命以降、5・18光州民主化運動、87年の6月抗争と脈をつないできた韓国の民主主義運動は、過去の未完の革命を完成させるべく大きな一歩を踏み出しました。韓国民衆は今、盧武鉉政府を最後まで守れなかった心強く失敗を二度と繰り返すことのないよう、文在寅大統領とともに進む決意を固めており、文在寅政府もまた国民の支持に答えるべく、連日新たな政策を打ち立てています。

在日韓国良心囚同友会は数年来「過去の裁判」をやり直す再審活動を続けて参りました。そして昨年も新たに金泰洪(キム・テホン)氏、徐聖寿(ソ・ソン)氏、金長浩(キム・チャンホ)氏などが再審無罪を勝ち取って、無罪宣告を受けた在日政治犯の数は33名を越え、今年1月には京都出身の李元二(イ・ウォニ)氏の無罪判決が予想されています。

私たちは年始の1月20日(土)に東京で、21日(日)には大阪市東成区民センターで、映画「自白」の上映会を開催いたします。この映画



は数年前「ソウル市公務員、ユ・ウソン氏のスパイねつ造事件」と、その40年前の「在日同胞スパイ事件」をデッチ上げた韓国「国家情報院(旧韓国中央情報部・KCIA)」を告発するドキュメンタリー映画です。同友会は、皆様方がこの映画を是非ご覧になれるよう、お勧めいたします。

在日韓国良心囚同友会は、今年も「自主」読者の皆様と手を取り合って前進する所存です。皆様方のご健康と、ご家庭の幸せを心よりお祈りいたします。

## 歴史の大河の一滴として

### 日韓平和連帯顧問 永久睦子

2017年韓国は、あのキャンドルデモで朴槿恵政権を打倒しました。日本は抜き打ち解散選挙で、改憲議席を自公政権に与えてしまいました。

安倍首相は選挙戦で「朝鮮の脅威」を煽り、「国難だ」と市民を脅し、麻生副総理は「北朝鮮のおかげの勝利だ」とホンネを漏らしました。彼らの勝因は私たちの敗因だと言わざるをえません。

「朝鮮脅威」にひるまぬ平和運動を創るための日本人の主体的な闘いと、日韓・日朝の固い連携がさらに求められていると痛感しました。

一昨年の8・15に韓国側から「朝鮮半島が最大の危機に直面しているとき、ベトナム戦争を全世界の反戦運動によって終結させたように、いま日米韓を軸にした国際連帯で朝鮮半島と日本から米軍を追い出そう」という提起がありました。日韓平和連帯は、その課題をもって2017年も8・15平和集会に臨みました。

韓国の政権交代後初の8・15でもあり、参加者は自信に満ちていました。大雨の中、大音量の街宣車と農楽隊に先導されたデモ隊は、米・日領事館を人間の鎖で包囲することをめざしました。しかし、領事館は警察によって完全に包囲されていました。デモ指揮者はこれを突破することをせず、シュプレヒコールを上げ、隊を整然と解散す

る道を選びました。87年6月民主抗争から30年、催涙弾や拷問に倒れた烈士たちを思い、あわせて私のなかに定時制高校時代の社会科の先生の言葉が湧き上がってきました。「歴史とは、虐げられた人々が虐げるヤツらに向かって挑んだ闘いだ。おまえたちはその歴史を受け継いで生きているんだ」と。——そうか、自分も歴史の大河の一滴としてここに立っているのかもしれない。大河のなかに、今年もともに在りたいと思っています。

## 東アジアの平和を築こう！

日韓平和連帯共同代表 山元一英

明けましておめでとうございます。

米朝の緊張が激化し、新たな戦争の危機が高まっています。米大統領トランプは、朝鮮民主主義人民共和国を「ならず者国家」と規定し、米国の「力による平和」を実現する新安保戦略を発表しました。



日本の安倍政権は、この米国の軍事政策に追随して日米共同ミサイル防衛計画を推進し、自衛隊を憲法に明記する9条改憲を發議し、国民投票で過半数を獲得することを画策しています。

2018年は「戦争か、平和か」の歴史的な分岐点となりつつあります。新たな戦争を許さない日本人民は、憲法改正に反対する3000万署名を開始して、日米軍事同盟体制強化を許さない取り組みを始めています。

韓国では、文在寅大統領の米国寄りの朝鮮政策に対する不満が語られ、3月から開始される米韓合同軍事演習の中止を求める闘いが準備されようとしています。

東アジアの平和は、米日韓の朝鮮政府転覆策動を辞めさせ、米朝対話の開始を促し、南北の平和統一、日朝の国交正常化の促進を図る人民運動の発展にかかっています。日本、韓国民衆の連帯した反戦運動を築き上げ、東アジアの平和を確立する2018年を作り上げましょう。

## 朝鮮戦争の終結をめざして 日朝国交正常化の早期実現を求める 市民連帯・大阪共同代表 大野進

「自主」読者の仲間の皆さん！新年明けましておめでとうございます。



去年は韓国において、民衆の力で朴槿恵大統領を退陣に追い込んだ歴史的な年となりました。韓統連は日本国内においてキャンドルデモなどを通じて、在日同胞と市民に真実を伝える運動にまい進されました。今年、新たに誕生した文在寅大統領の役割はとても重要で、政治の真価が問われます。そして、喫緊の課題として南北朝鮮の対話と融合を急がなければなりません。

アメリカのトランプは白人至上主義を露わにし、独善的な政権運営をする一方で、安倍政権は完全服従となり下がりました。そして共通して「北朝鮮」に対して圧力一辺倒の挑発を繰り返しており、トランプが軽率にも「このままいくと戦争しかない」と述べるなど、核戦争の危機を生じさせています。

安倍首相は憲法改悪を歴史的使命と捉え、日本国内で最大の右翼である日本会議と結託し、集団的自衛権によってアメリカの戦争に加担しようとしています。

また被爆国日本が核兵器禁止条約協議に参加しないなど、悲惨な戦争の歴史を忘れ、アメリカの核による世界支配戦略に同調することは許されません。

今年の情勢は、かつてないほどの戦争の危機に直面していると捉え、悔いのない運動を展開しなければなりません。朝鮮戦争の終結と朝鮮半島の平和的統一、そして日朝国交正常化を実現するために共に奮闘しましょう。





## 2018年は、朝鮮半島の軍事緊張を緩和するため、停戦協定を平和協定に変えるため、平和・友好の促進と自主的平和統一の実現に向け、日朝・日韓民衆の連帯を拡げよう

おおさかユニオンネットワーク代表  
垣沼陽輔

新年明けましておめでとうございます。

去年は安倍政権が森友・加計疑惑問題などで国民の支持を失い、東京都議会議員選挙で自民党が惨敗する結果となりました。しかし、6月に通常国会を閉幕後、森友・加計疑惑の追及を逃れるため3ヶ月も経って臨時国会を9月28日開会し、冒頭に衆議院を解散、10月5日公示、10月22日投開票で総選挙が戦われました。野党は、小池東京都知事が「希望の党」を結成し、そこへ民進党がなだれ込む動きを見せましたが、小池知事は、民進党のなかの護憲派を排除するという選別を行ったため求心力を失い、野党共闘で選挙戦を準備していた共産・社民・自由などに水を差すことになり、その結果、自公で3分の2の議席を獲得し、憲法改正派が8割も占めました。

一方、野党は「立憲民主党」57議席と野党第1党を占め、護憲の旗を守りました。

国民の7割が憲法9条改憲に反対です。選挙期間中、安倍首相は朝鮮民主主義人民共和国（朝鮮）の脅威が迫り、一触即発の危機だと煽りました。11月7～13日までソウルや全北地域を訪問しましたが、韓国内では戦争反対の声を保守もリベラルも上げています。

戦争の危機を煽るのではなく、朝鮮と米国とが対話を重ね、停戦協定を平和協定に変えて、東アジアの軍事緊張を緩和することが安倍政権の行うべきことです。

昨年秋の臨時国会で上程を予定していた「働き方改革」による長時間労働規制では上限80時間、繁忙期は100時間まで容認する法案に、労働者



が過労死を野放しにすると反対の声を上げています。また「高度プロフェッショナル」制度の導入で年収1075万以上の人は、いくら残業しても手当を支払わないことへの反発も出てきました。安倍政権の行う悪法にしっかりと対峙して、反対の声を大きくしていきます。

朝鮮高級学校無償化を求める裁判で、大阪地裁が朝高側の申し立てを受け入れ、国に無償化を行うよう判決を下しました。広島、東京では敗訴しましたが、日本で生まれ育った在日朝鮮人の子どもたちだけを差別し、排除することは絶対に許されません。一日も早く高校無償化を実現できるよう共に取り組んでいきます。

日米韓軍事同盟強化に反対し、東アジアの平和構築と朝鮮半島の自主的平和統一に向け、本年も韓統連の皆さまが「6・15共同宣言実践日本地域委員会」の先頭に立ち、奮闘されることを期待します。

### 9条改憲を許さず、

### 日韓民衆連帯を発展させよう！

### しないさせない戦争協力

### 関西ネットワーク共同代表 中北龍太郎

政府自民党は本年、改憲議席80%超に勢いを得て9条改憲の動きを加速しようとしている。憲法9条の1、2項を残して3項に自衛隊を明記しようというの



である。安倍首相は「憲法に自衛隊を明記したからといって、自衛隊の任務と権限に変化はない」と述べている。これは歴史の大嘘である。この9条改憲によって2項の戦力放棄、交戦権の否認が死文化し、際限なき海外派兵、全面的な集団的自衛権の行使に道が開かれる。極めて危険な改憲案である。

9条はこの国を戦争しない国にするための、また軍事力の行使に対する歯止めである。9条改憲はこの歯止めを失うことを意味する。国会での改憲発議を何としても阻止しよう。いざ発議され

ば国民投票で迎え撃ち、勝利しよう。何としても改憲を阻止し、戦争への道をとめよう。

安倍政権は支持率が低迷しているように、決して安定政権ではない。衆院選比例区での絶対得票率は17%に過ぎない。また憲法に自衛隊を明記することに反対45%、賛成36%という朝日新聞の世論調査結果も出ている。このように改憲の基盤は見た目よりも脆弱である。

そして対米軍事協力の安保法制＝戦争法を廃止しよう。朝鮮半島の危機に対し、武力で平和を築けないことをはっきりと訴えていこう。「唯一の被爆国」というなら、真っ先に核兵器禁止条約に批准すべきだ。こうした民衆の願いを踏みにじる安倍政治を1日も早く終わらせよう！

2018年を日韓両国の戦争勢力と闘う日韓民衆連帯を発展させ、共にアジアの平和を築く元年としよう！

韓統連の今年の飛躍を心から祈ります。

## 2018年を迎えるにあたって

### 日朝日韓連帯大阪連絡会議

(ヨンデネット大阪)共同世話人 林真樹

韓国キャンドル市民革命が朴政権を打倒し、「市民によって創られた政権」を自認する文在寅政権が誕生し、半年が経過しました。



内政、外交めぐって順風満帆とはいかない状況が続いていますが、労働者・民衆との対話を基軸にした政治姿勢について崩れるものではないと確信します。

私たちヨンデネット大阪は、昨年「戦争あかんロックアクション」とともに、8月6日に「韓国市民革命に学ぶ～東アジアの非核化に向けて」という表題で、韓国最大のNGOである韓国参与連帯事務処長の安珍傑(アン・ジンゴル)さんを招き、文政権のめざす国家像から南北関係、日韓関係の今後に至るまで幅広いテーマについて講演を受け、朝鮮半島・東アジアの非核化に向けた思いを共有し、今後の行動につなげていくことを確認してきました。

現在、朝鮮民主主義人民共和国による核開発とミサイル発射に対するアメリカ トランプ政権の対応により、朝鮮半島・東アジアの軍事的危機をもたらしています。

一方、日本では「力による平和」を唱えるアメリカ トランプ政権に追随し、戦争遂行国家をめざす安倍政権が、10月22日の衆議院選挙の勝利によって憲法改悪を本格的に進めていく動きが加速化しています。

また大阪においては、サンフランシスコ市での「慰安婦」像設置を理由に、日本維新の会の吉村市長がサンフランシスコ市との姉妹都市関係の解消を行おうとしています。

ヨンデネット大阪は憲法改悪に進む安倍政権と、その補完勢力である日本維新の会を許さず、日韓労働者・民衆連帯の取組みを強化し、国際共生社会の実現に向けてネットワーク組織の良さを生かして引き続き運動を進めていきます。

本年もよろしくおねがいします。

## 2018年韓統連大阪本部 連帯の夕べ

日時：2月11日(日)午後5時 受付 午後5時30分 開会

場所：KCC会館(地下鉄今里駅下車徒歩10分)

内容：第1部 記念講演 講師：孫亨根韓統連中央本部議長

第2部 懇親会

参加費：3000円

主催：韓統連大阪本部 TEL06-6711-6377

## 2017年の情勢・活動を振り返り 親睦と交流を深める 韓統連大阪本部送年のつどい

2017年の活動の成果を共有する「2017年韓統連大阪本部送年のつどい」が12月10日(日)、KCC会館(大阪市生野区)で開かれ、会員・地域同胞、日本人が参加した。

つどいでは、金隆司(キム・ユンソ)韓統連大阪本部代表委員が「2017年3月、キャンドル革命によって朴槿恵を退陣に追い込み、5月に文在寅大統領が誕生した。今年、私たちの運動の最も大きな成果だ。来年はこの成果を土台に、より一層運動にまい進していきましょう」と乾杯挨拶を行った。



▲和やか雰囲気で行った送年のつどい

その後、各テーブルでは韓国料理を囲みながら、お互いの近況を語り合うなど親睦と交流を深めるとともに、映像と写真を活用した「2017年の情勢・活動を振り返る」が上映され、2017年

の韓統連大阪本部及び生野支部の活動が紹介され、1年間の活動の成果を共有した。

続いて、韓青大阪本部から1月に開かれる成人式、3月に大阪で開かれる韓青全国冬期講習会の紹介、参加者からのスピーチが行われ、最後に姜明寿(カン・ミョンス)本部副代表委員が閉会辞を述べ、送年のつどいは終了した。

## 文在寅政権に自主的で主体的な 外交・対北政策を望む 韓統連生野支部情勢学習会

韓統連生野支部2017年最後の行事となる「情勢学習会 文在寅政権の200日」が12月17日(日)、生野支部事務所で開かれ、支部会員などが参加した。

情勢学習会では金昌範(キム・チャンボム)韓統連生野支部代表委員が講師を担い、初めにトランプ政権発足後、軍事緊張が高揚している朝米関係について報告され、続いて、文在寅政権発足後の国内情勢について「キャンドル革命が最も求めた積弊清算は、政府が白南基(ペク・ナギ)先生暴力殺人事件への公式謝罪や、セウォル号惨事の真相調査の再開などを実施しているが、南北関係ではトランプ政権に同調して、北朝鮮への制裁と圧力を加えている」と指摘、「文政権の今後の課題として、自主的で主体的な外交、対北政策の転換が求められ、多くの民衆も望んでいる」と語った。

報告後は質疑応答が行われ、情勢学習会は終了した。

### ◆◆行事案内◆◆

#### ウリ民族同士成人祝賀会&新年会

日時：1月14日(日)午後6時～  
場所：KOKOプラザ1階 KOKOカフェ  
JR新大阪駅下車東口から徒歩5分  
大阪市東淀川区東中島1-13-13  
参加費：新成人者 無料  
一般4000円/学生3000円  
連絡先：韓青関西協議会 06-7501-7627

#### ドキュメンタリー映画「自白」

日時：1月21日(日)第1回上映 午後3時  
第2回上映 午後5時  
場所：東成区民センター小ホール  
(地下鉄今里駅下車徒歩5分)  
参加協力券：1000円  
問合せ：090-3994-4699  
(上映実行委員会)

#### 編集後記

新年おめでとうございます。今年も自主(チャジュ)では、朝鮮半島情勢を正しく伝えるとともに、投稿やコラムなど、より充実した紙面作りをしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。(ソン)